

第2号議案【2004年度活動方針】

「第8期活動方針を提起するにあたり、執行委員会として二つの観点から組織・活動の現状を分析し、課題に対する認識を共有化した上で方針を提案することとしました。」と清村事務局長から、第8期・2004年度活動方針の説明提案を行いました。

第1の視点

連合群馬総体としての現状認識と今後に向けた課題

第2の視点

第7期後半における組織運営上の課題と今後の取り組み

第8期の活動方針のキャッチフレーズは、「参画・行動・挑戦」であります。これは、連合群馬に結集する産別・地協など全ての組織が連合運動に参画し、具体的活動を展開する中で、新たな運動に挑戦しようとの思いを込めたものであり、組織改革の実践すなわち「連合運動・労働運動の質的転換と強化」を図るものです。

第8期活動方針については、3つの活動領域と8つの主要重点課題の具体的な取り組みについて、県連合・地協・産別の役割を明確に整理し、主要課題の到達目標を明確にした方針を提起し、全会一致で承認されました。

第8期活動の基本目標

すべての県民が安心して暮らせる
地域社会の実現をめざす

○安心・安定・安全をキーワードとする政策実現に取り組む
○労働運動の存在価値・影響力を高める

○県民に信頼され頼りにされる活動の展開
○職場と地域社会に目に見える活動の展開
○質的転換を図り働く人々が結集できる活動の展開

3つの領域と重点課題

<県民に信頼され頼りにされる活動の展開>

1. 労働組合の存在価値を高める運動

- ①政策・制度提言と実現に向けた取り組み
- ②社会的なセーフティーネット・サポートシステム作り
- ③組織拡大・強化の取り組み～労働組合作りの支援～

➡ 全ての県民が安心して暮らせる群馬県を実現し、連合群馬の社会的責任と役割を果たす。

➡ 全ての勤労県民とその家族が、安心して働き、生活できる地域社会づくりのために役割を果たす。

➡ 労働組合の社会的な影響力を高め、求心力ある連合運動を推進するため取り組む。

<職場と地域社会に目に見える活動の展開>

2. 203万県民に向けた活動

- ①ぐんまふれあいフェスティバル
- ②県民の意識を把握する調査の充実
- ③なんでも相談体制の強化

➡ 連合群馬・労働組合の社会的な存在感を高めるため、広く県民に開かれた楽しめる機会を提供する。

➡ 社会的な課題や政策要求をより確かなものとするために県民意識やニーズを把握する。

➡ 弱い立場にある勤労県民が、安心して働ける環境づくりに向け、役割と責任を果たす。

<質的転換を図り働く人々が結集できる活動の展開>

3. 連合運動の基盤強化と再構築

- ①組織体制・運営の強化
- ②連合群馬「労働大学（仮称）」の開講

➡ 第7期組織改革を着実に実践し、産別・地協・県連合の力合わせを実現するために取り組む。

➡ 組合役員の労働運動に対する意識改革を図るために取り組む。



▲参加者全体の拍手で承認されました。

第3号議案【2004年度予算(案)】

「第8期活動を実践するための予算計上であり、選択と集中で効果的な予算運用に努めます。」との提案説明を清村事務局長から行い、全会一致で承認いただきました。